

あなたの声かけ・見守りが

目の不自由な方の支えになります

目が見えない・見えにくいと、困ったときに自分から人を探して声をかけることが難しいです。



てっだ
お手伝い
しましょうか？



誘導案内をする際の3つのポイント

1 どうすればよいか聞きましょう

どのようにお手伝いし、ご案内すればよいかは、人によって違います。まずは、聞いてみましょう。ご案内が終わった後は、「それでは、お気を付けて」とご挨拶を。

2 周りの状況を伝えましょう

案内中は、周囲の状況を伝えるようにしましょう。階段や列車への乗降等の注意を要する場所は、一旦立ち止まり、手すりや段差を確認してもらってから、ご案内しましょう。

3 お手伝いが必要ないときもあります

手伝いは不要と言われても気にする必要はありません。「お気を付けて」と声をかけ、無理のない範囲で見守りましょう。

ねが
お願い
次の行為は、目の不自由な方の歩行の妨げになり、ホームからの転落につながりかねない大変危険な行為ですので、おやめ下さい。

スマートフォン等の「ながら歩き」はお控え下さい。

黄色い点状ブロックの上で立ち止まったり、荷物を置いたりしないで下さい。